

(参考様式4)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月28日作成

活性化計画名	恵庭北島地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
恵庭市	1231	1	H25～H28	H25～H27
活性化計画の区域				
当該区域の区域面積は1,636haで、農業経営の安定化を進める上で生産基盤の安定が必要であり、基盤整備により農業経営の安定化及び担い手の経営意欲向上を図り、地域の定住化促進と活性化を目標として策定したものである。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
10. 定住等の促進に資する 基盤整備の円滑化	4年	3年	100%	

(コメント)

基盤整備事業の着手に向けた計画期間は平成25年度から4年であるが、平成27年度に道営農地整備事業（経営体育成型）が採択され、平成28年度より着手したことから目標を達成している。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用用排施設	西3線幹線排水路整備 コンクリート柵渠 L=627.93m		恵庭市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
恵庭市	平成25年度	平成27年度	平成28年1月25日

事業の効果

老朽化していた幹線排水路を整備したことにより、農業生産基盤が改善され農業経営の安定化及び担い手の経営意欲の向上を図り、地域の定住化促進と活性化が図られた。

3 総合評価

(コメント)

道営農地整備事業（経営体育成型）の着手により、ほ場の大区画化、排水路及び暗渠排水の整備による生産性の向上や生産コストの低減が図られ、農業経営の安定と生産基盤が強化されまた、農地の高度利用を図り、担い手への農地集積及び流動化を促進し、経営意欲向上による定住化と地域の活性化が期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

幹線排水路の整備により、農業生産基盤が改善され農業経営の安定化と経営意欲の向上が図られ、道営農地整備事業（経営体育成型）の実施により、生産性の向上による農業経営の安定や経営意欲の向上による定住化の促進が図られることを期待する。

恵庭市農業委員会 会長 龍田 敏雄